

各位

社名変更のお知らせ

令和8年10月1日

東京和染株式会社

代表取締役 瀧澤一郎

専務取締役 瀧澤慶子

社員一同

このたび弊社は、令和8年10月1日をもちまして、「東京和晒株式会社」から「東京和染株式会社」（とうきょうわせん かぶしきがいしゃ）へ社名を変更いたしました。

弊社は明治22年の創業以来、東京葛飾立石の地で晒業を中心とした繊維加工業に携わってまいりました。初代瀧澤三次郎が「丸三晒」を創業以来、二代目瀧澤利兵衛が「瀧澤漂白工場」に改名して晒加工を拡大し日本陸軍指定工場となりましたが敗戦。戦後、昭和22年に三代目瀧澤一郎兵衛が「東京和晒」に改名してゆかた・手ぬぐい生地加工及び販売で業績を伸ばし、四代目現社長瀧澤一郎が、受注生産のジャンルを開拓し、小幅綿布を使った新製品づくりにチャレンジするという、歴代が脈々と晒と染のものづくりを大切にし、これまで多くの皆様に支えられながら歩みを重ねてまいりました。

晒加工は染色の土台となる重要な工程です。そのため私たちは長年にわたり、注染をはじめ、捺染、無地染、藍染など、さまざまな染色技法と向き合いながら、染色品質を支える役割を果たしてまいりました。染色工程で問題が発生した際には、その原因究明のために各種染色技法への深い理解が求められます。私たちはそうした経験を積み重ねる中で、晒だけでなく、染めそのもの、さらには製品づくり全体に関する知識とネットワークを培ってまいりました。

現在では東京本染注染、染料捺染、顔料捺染、インクジェットプリント、各種無地染、藍染、その他各種染色加工など、多様な染色技法に対応し、お客様のものづくりを企画から製品化までワンストップでサポートしております。

今回の社名変更は、私たちの事業がかつての「晒業」から「染めから製品づくりまでを総合的にプロデュースし想いの一歩先をカタチにする会社」へと進化した現在の姿を、より正確に表現するためのものです。

これからの東京和染株式会社は、「つながりを彩りある未来へ!」、伝統技術を大切にしながらも新しい技術や表現方法を積極的に取り入れ、お客様の想いをかたちにするパートナーとして、より一層価値あるサービスの提供に努めてまいります。今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



東京和染株式会社